

2021年9月30日（木）

老球の細道633号

9月の言葉

会津バスケットボール協会 室井 富仁

ようやく全国19都道府県に出されていた緊急事態宣言、8県に適用中のまん延防止等重点措置が今月末を持って解除される。理由もよくわからず感染者が減っているという見解があるが、何はともあれお酒が飲み屋さんで堂々と飲めるようになることは幸いである。同時に私事であるが5月から続いていた右股関節痛が今月劇的に消失した。これも理由はよくわからない。ウォーキングも痛くて試練であったが、ようやくQOLが回復した。

#### 1・テレビから

◆「変化を繰り返さず先に進化がある」〈NHKBS：郷ひろみスーパーナイト〉：未だに切れのある踊りは一日1000回近くの腹筋運動等のトレーニングの賜物だという。ジャンルの異なるカバー曲にチャレンジして、さらに進化を目指す姿勢は驚異的である。単なる爺にはなりたくないが郷ひろみのハードルは高い。しかし爺は荒野を目指すのが使命である。

#### 1 読書から

◆「良い選手は自分を良くするだけ。偉大な選手は彼らの周りの選手をより良くする」〈ステイブ・アルフォード著『PLAYING FOR KNIGHT』米国本〉：1991年初めてアメリカにコーチ研修で行った時に購入した本を3年がかりで辞書を片手に読破した。天才コーチ、ボビー・ナイトの真実の姿と凄さが描かれていた。彼は常に偉大さにこだわっていた。

◆「批判を恐れ、反対を封じると、転落の歴史が始まる」〈藤原彰『体系・日本の歴史・世界の中の日本』小学館〉：過去に目を閉ざす者は現在にも盲目になる。いつの世でも、スポーツの世界でも皆共通である。批判（自己批判も含む）により新たな世界が開ける。

◆「穏やかな日に暴風雨のことをまったく考えないのは人間に共通の欠点である」〈佐々木毅『人類の知的遺産・マキャベリ』講談社〉：コロナ禍が落ち着きつつある今、次なる第六波に向けての準備スタート。人生において、生は偶然、死は必然、幸福は自然に、そして不幸は突然やってくる。長岡藩に古くから伝わり山本五十六が箴言とした「常在戦場」は有名。

#### 2・新聞から

◆「考えてもしょうがない。その日の一番に全力をかけて土俵に上がるだけ」〈朝日：スポーツ：横綱照ノ富士〉：健康、仕事、お金、死などについて毎日のように先行き不安が頭をかすめる。過去と未来はどうにもならない。そんな時、大相撲秋場所でどん底から横綱に返り咲いた照ノ富士が言ってくれた。日々全集中。孫との虫捕りにも手抜きをしない。

◆「関係の改善を望むのであれば、問われるべきは自分の言葉だ。いや、違う。より根源的な問題は自分の耳にある。話を聞いてもらうために、先に聞かなくてはならぬ。聞かずに語った言葉は聞かれない」〈朝日：社会季評・東畑開人〉：新しい日本のリーダーは他人の話をよく聞けるのが特徴だと自画自賛する。コミュニケーションのツボは聞くことにあると言われる。特に耳に痛い話ほどよく聞かなければならない。コーチももちろんである。